



LGBTってなんだろう？

「LGBT」。この言葉をテレビ等で見かけることも多くなってきました。LGBTとは、性的少数者(セクシャルマイノリティー)の代表的な4つの頭文字を合わせたものです。

- L**：レズビアン(女性の同性愛者) **G**：ゲイ(男性の同性愛者)
B：バイセクシャル(両性愛者) **T**：トランスジェンダー(心と体の性が一致しない人)

性的少数者には、上記以外にも

- I**：インターセックス(身体的にも男女の区別がつきにくい人)
A：アセクシュアル(無性愛者、同性も異性も好きにならない人)
Q：クエスチョニング(心の性や恋愛対象の性が定まっていない人)

などがあり、LGBTs や LGBTIQ と表記したりしています。



どれくらいいるの？

日本人の人口の約8%は、LGBTなどの性的少数者と言われています。

ちなみに・・・
 LGBT：13人に1人
 左利き：11人に1人
 AB型：10人に1人 (2015年電通ダイバーシティ・ラボ調べ)

「性の多様性」を尊重すること

私たちは誕生すると男・女に区別され、幼児期からは社会的性別(ジェンダー)により「男らしさ・女らしさ」を期待され成長することが多々あります。しかし、「性のあり方(セクシャリティ)」は男・女だけではありません。「体の性」「心の性」「好きになる性」は多種多様です。

多くの当事者は、幼児期から偏見やいじめ・差別などで孤立しやすく、自分らしく生きることができない現実があり「生きづらさ」を抱えています。「別の世界の特別な人」と考えていると、知らないうちに言葉や態度で身近な人を傷つけてしまうかもしれません。どこにでも当事者がいるということを意識し、1人ひとりの性のありようを尊重することが大切です。

問合せ：市民協働推進課 平和・男女共同係 ☎893-4411 内線 421

学び、ふれあい、感じる実践の場

めづき★ふくふく情報

平成30年度 第10回ふくふく講座

師走を迎え今年も残りわずかとなりました。今年一年、ふくふくをご利用いただき誠にありがとうございました。

新春年明け、初回の講座は「大人の発達障がいについて」です。発達障がいとは、幼少期から現れる発達のアンバランスさによって、脳の情報処理や制御に偏りが生じ、日常生活に困難をきたしている状態のことです。「コミュニケーションが苦手」「人間関係がうまくつけない」などの特徴があり、日常生活や職場で困る事がある一方、ある分野では優れた能力を発揮するといった特徴もあります。発達障がいの人に接するとき、その人がどんなことができるか、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その人」に目を向け、周りの人が理解し、支援することがとても大切になってきます。

ありのままの自分で生きていく
 ～大人の発達障がいの理解と支援～

講師 前田智子さん

(NPO法人わくわくの会)

さぽーとせんたーから・iとおうち所長

日時 平成31年1月24日(木)

19時～21時

場所 男女共同参画支援センターふくふく講堂

対象 関心のある方(市外も可)

定員 80人

受講料 無料

託児あり 希望者は1月15日までに要予約

※人数に制限があります

申し込み・問い合わせ先(平日10時～17時)

男女共同参画支援センターふくふく

宜野湾市志真志1丁目15番22号

電話 896-11616



みんな来てね！